

## 私の本棚

アクサ生命保険社長

安淵 聖司氏

▶「植物たちの戦争 病原体との5億年サバイバルレース」  
(日本植物病理学会編著、講談社)

自分では動けない植物が、目に見えないミクロの世界で、今も常に、そして過去5億年にわたり微生物との戦争を繰り広げているという。本書は、その驚きの実態を、最新の研究成果を取り入れ、コンパクトながら、

丁寧に説明してくれる。

「そもそも神経系のない植物が、外敵である微生物の攻撃をいかに感知するのか、そして防御のメカニズムをどのように発動するのか」という大きな疑問を科学の力で解明していくのだが、これが実に面白い。

例えば、植物細胞は細胞壁という強力なバリアで守られており、その表皮も、クチクラ層という強固な障壁だが、一部の細菌はそのバリアを打ち破る「付着器」を持っているのだ。まさに、城壁にとりついて穴を開けるドリラーだ。そして、植物側も対抗して、付着器の無効化、抗菌物質の生成や、更には、侵入部位の細胞の自死などの防御策を発達させているのだ。

余りなじみのない「植物病理」という分野だが、植物ホルモンの発見や、植物の遺伝子組み換え技術もこの分野から生まれた、実は重要な学問領域であることがよく分かる一冊だ。

